37　国勢調査から分かること　　２６年９月１８日掲載

来年１０月に５年ぶりに実施される国勢調査は、国内のほぼ全ての人が対象となるわが国最大の統計調査で、結果を詳細に分析することにより、各都道府県や市町の状況をさまざまな観点から知ることができます。

例えば、平均寿命が伸び、高齢化が進む中、高齢者の就業状況は各市町でかなりの違いがあることはご存知でしょうか。

平成２２（２０１０）年の調査では、６５歳以上の就業率が県内で最も高い美祢市（２７．２％）と最も低い和木町（１４．４％）とでは２倍近い開きがあります。

これを産業別で見ると、美祢市では約半数が農業に従事し、次いで卸売・小売業が多く、この２業種で約６０％を占めています。一方、和木町で最も多いのは卸売・小売業、次いで建設業や宿泊業・飲食サービス業で、この３業種の合計で４６．３％です。

現在の高齢者の就業先は、農業や小売、飲食など、個人や家族で経営することが多く見られる業種が中心で、特に農業の比率が高い市町が高齢者の就業率で上位にあります。

７５歳以上ではこの傾向はさらに顕著となり、７５歳以上の就業率が１８．３％で県内１位の阿武町では、農業や漁業、卸売・小売業などの割合が９割に達しています。

前回の調査以降、いわゆる団塊の世代が６５歳以上となって、高齢化率がさらに上昇するなど、高齢者を取り巻く状況は大きく変化しています。現状はどうなっているのか、次回の国勢調査の結果が待たれます。調査へのご協力をよろしくお願いします。

県内市町の高齢者就業率の状況（男女計）

（単位：%）

順位	65歳以上		75歳以上	
1	美祢市	27.2	阿武町	18.3
2	阿武町	26.6	美祢市	16.1
3	萩市	24.7	周防大島町	15.5
⋮	⋮		⋮	
全県	―	19.7	―	10.1
⋮	⋮		⋮	
17	平生町	16.1	下松市	7.2
18	山陽小野田市	15.3	山陽小野田市	6.6
19	和木町	14.4	和木町	4.9

出典：「平成22年国勢調査」